

ボトルワインの輸入



平成30年10月24日
東京税関



- ☆2017年は「チリ産」の輸入量が**過去最大**、2015年から3年連続首位。
- ☆2017年の輸入量・輸入額ともに、「**東京港**」が**30年連続首位**※。
(※データの比較可能な1988年以降)
- ☆2017年は全国の空港別で輸入量・輸入額ともに、「**成田空港**」が**首位**、「**羽田空港**」が関西空港を抜いて**第2位**。

はじめに

毎年11月の第三木曜日はボジョレー・ヌーヴォーの解禁日。今年は11月15日です。日付変更線の関係でいち早く解禁日を迎える日本では、近年、ボジョレー・ヌーヴォーを含めたワインの輸入量・輸入額とも、高水準で推移しています。

今回はボトルワインの輸入を取り上げます。

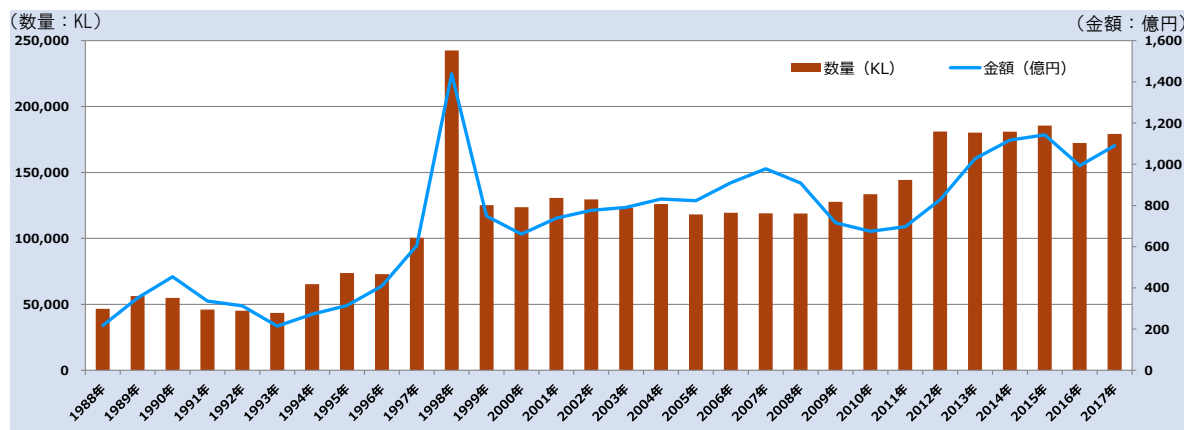
年別推移

年別の推移(図1、表1)で見ますと、2012年から2015年までの全国の輸入量は18万KL台で推移していましたが、2016年は、輸入量が17万2,395KL(前年比92.9%)、輸入額が993億円(前年比87.0%)と、輸入量・輸入額ともに減少に転じています。

業界によると2016年に減少した理由として「ウィスキーなどのワイン以外のアルコール飲料の人氣が高まったことにより、一時的にワインの消費が減少した」ことが一因と考えられるようです。

2017年を見ますと、前年と比べて輸入量が17万9,251KL(前年比104.0%)、輸入額が1,091億円(前年比109.8%)と、輸入量・輸入額ともに前年を上回っています。

【全国 輸入量・輸入額 年別推移】(図1)



【全国 輸入量・輸入額 年別推移】(表1)

年	数量 (KL)	前年比	金額 (億円)	前年比
2012年	181,125	125.5%	829	118.9%
2013年	180,166	99.5%	1,027	123.9%
2014年	180,874	100.4%	1,117	108.8%
2015年	185,615	102.6%	1,142	102.3%
2016年	172,395	92.9%	993	87.0%
2017年	179,251	104.0%	1,091	109.8%

本特集の「ボトルワイン」は、
輸入統計品目番号 2204.21-020
(ぶどう酒のうち、2ℓ以下の容器入りにしたもの)
に分類されるものについてまとめたものです。
(2018年8月分は「輸入9桁速報値(P)」です。)

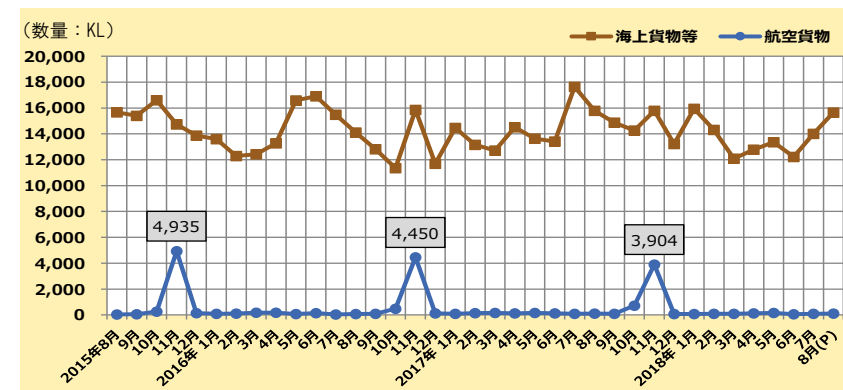
月別・国別動向

11月は輸入量が増加

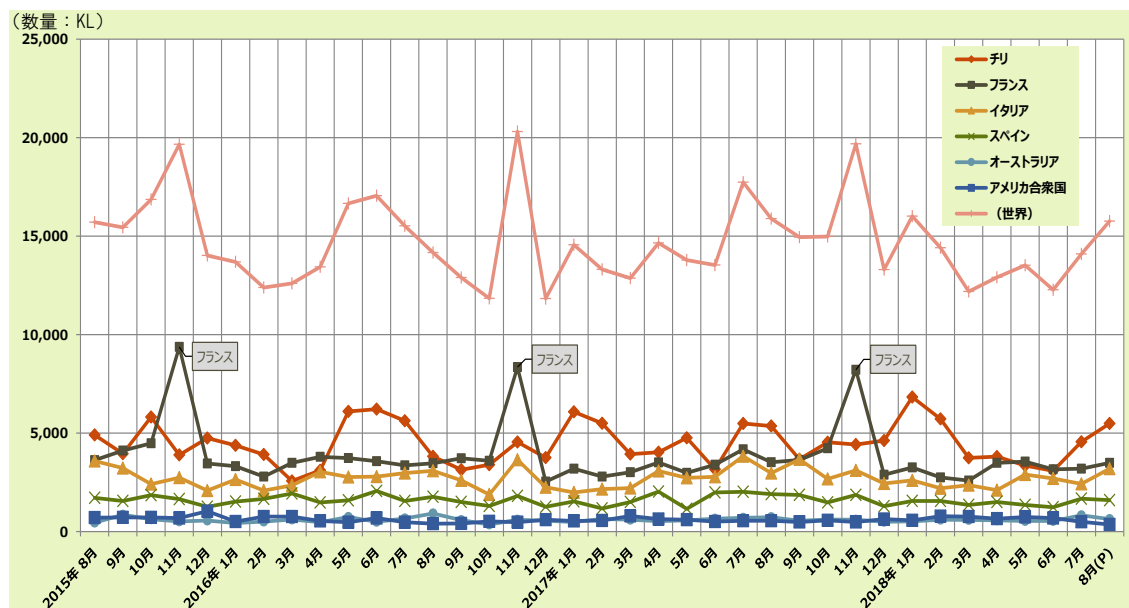
輸入量の月別推移を見ますと、主要国別（図2）では毎年11月に輸入量が増え、運送形態別（図3）では航空貨物での輸入が毎年11月に多くなっていることが分かります。

さらに、2015年から11月の航空貨物の主要国別構成比（表2）を見ますと、フランス産の輸入量割合が航空貨物全体の97%以上を占めています。これは、11月に解禁されるボジョレー・ヌーヴォーの影響が大きいと考えられます。

【全国 運送形態別 輸入量 月別推移】（図3）



【全国 主要国別 輸入量 月別推移】（図2）



【全国 航空貨物 主要国別 輸入量 構成比】（表2）

2015年11月 (数量: KL)

フランス	4,846	98.2%
その他	89	1.8%
計	4,935	100.0%

2016年11月 (数量: KL)

フランス	4,329	97.3%
その他	121	2.7%
計	4,450	100.0%

2017年11月 (数量: KL)

フランス	3,789	97.1%
その他	115	2.9%
計	3,904	100.0%

年別・国別動向

チリ産の輸入量が増加

ボトルワインの原産国は、長年にわたってフランス産が最も多く、比較可能な1988年以降2014年まで、輸入量・輸入額ともにフランス産が首位となっていました。

しかし、2015年以降の輸入量では、チリ産がフランス産を上回り首位となり、2017年においてはチリ産として過去最大の輸入量となっています（図4）。

業界によるとチリ産のワインに人気がある背景には、

- ・チリ国内の醸造技術が向上し品質が良くなっている
- ・品質が良いわりに比較的安価に買い求められる
- ・日チリ経済連携協定（EPA:2007年9月3日発効）により関税率が低い

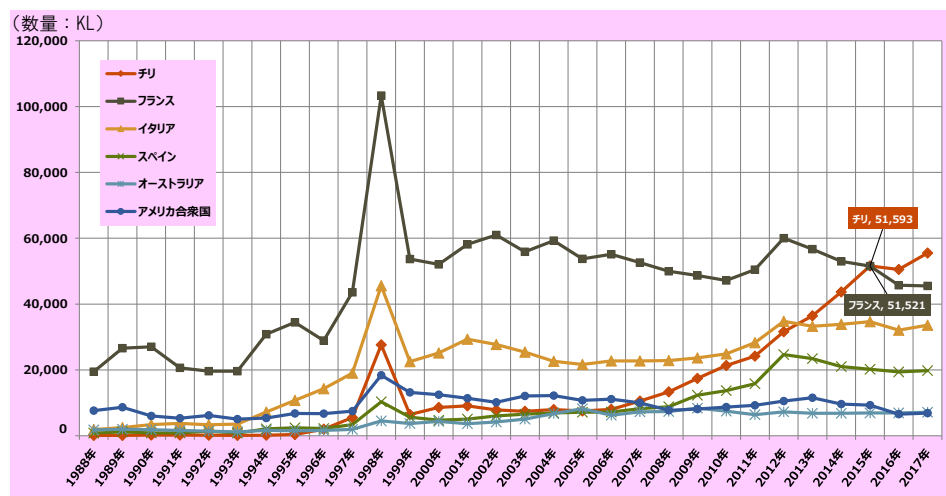
などが一因と考えられるようです。

なお、数量ではチリ産が首位となっていますが、金額では依然としてフランス産が首位となっています（表3）。しかし、2007年の構成比と比べると2017年においては数量・金額ともにフランス産の割合が減少していることが分かります（図5）。

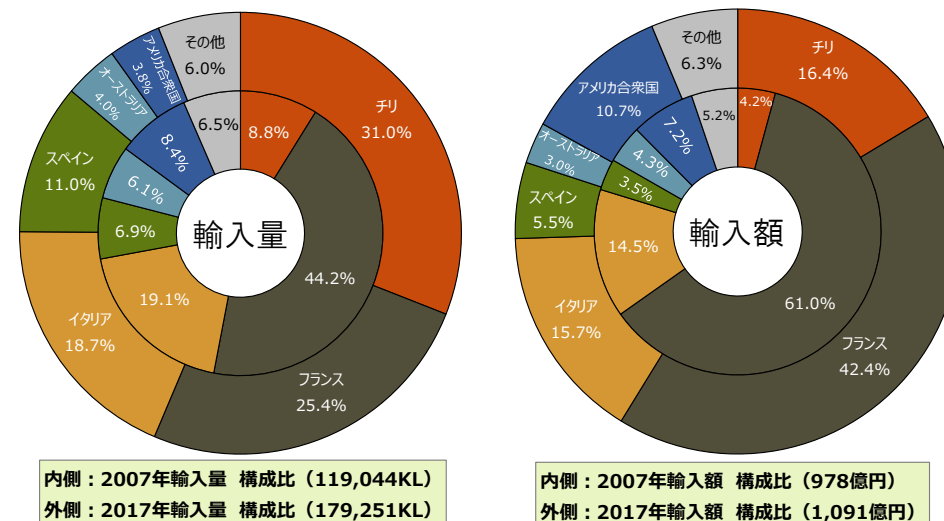
【全国 主要国別 輸入量・輸入額（2017年）】（表3）

国名	数量 (KL)	構成比	金額 (億円)	構成比
チリ	55,519	31.0%	178	16.4%
フランス	45,523	25.4%	463	42.4%
イタリア	33,590	18.7%	171	15.7%
スペイン	19,761	11.0%	60	5.5%
オーストラリア	7,144	4.0%	33	3.0%
アメリカ合衆国	6,876	3.8%	116	10.7%
その他	10,838	6.0%	69	6.3%
計	179,251	100.0%	1,091	100.0%

【全国 主要国別 輸入量 年別推移】（図4）



【全国 主要国別 輸入量・輸入額 構成比（2007年、2017年）】（図5）



港別動向

東京港・成田空港が首位
成田空港・羽田空港が急増！

ボトルワインの輸入を全国の主要港別（表4、図6）に見ますと、2017年の全国の輸入量・輸入額のうち東京港の輸入量が41.7%、輸入額が42.0%を占めて首位、成田空港の輸入量が3.9%、輸入額が5.9%を占めて空港別で首位となっています。

比較可能な1988年以降、主要港別の年別の推移（図7）を見ますと、輸入量・輸入額※ともに30年連続で東京港が首位という傾向は変わっていません。（※輸入額の推移についてはPage6【全国 主要港別輸入額 年別推移】参照）

一方、主要空港別の年別の推移（図8、9）を見ますと、首位が成田空港という傾向に変わりはありませんが、2017年の輸入量・輸入額ともに成田空港と羽田空港の輸入が増加し、羽田空港が関西空港を抜いて輸入量・輸入額ともに第2位となっています。

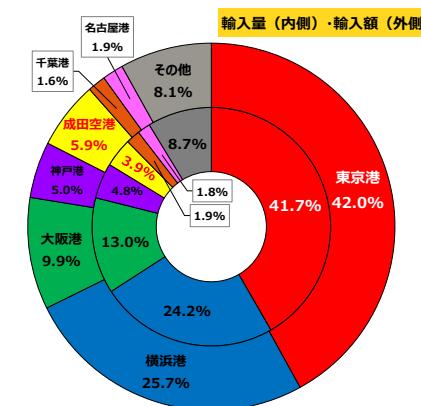
おわりに

私たちの日常にすっかり定着したワイン。2018年7月に署名済みの日EU経済連携協定（EPA）が発効された際には、EU諸国の協定締約国からの輸入が促進され、お求めになるワインの選択肢が広がるかもしれません。みなさんも、今後に期待を込めつつ、楽しくワインを味わってみてはいかがでしょうか。

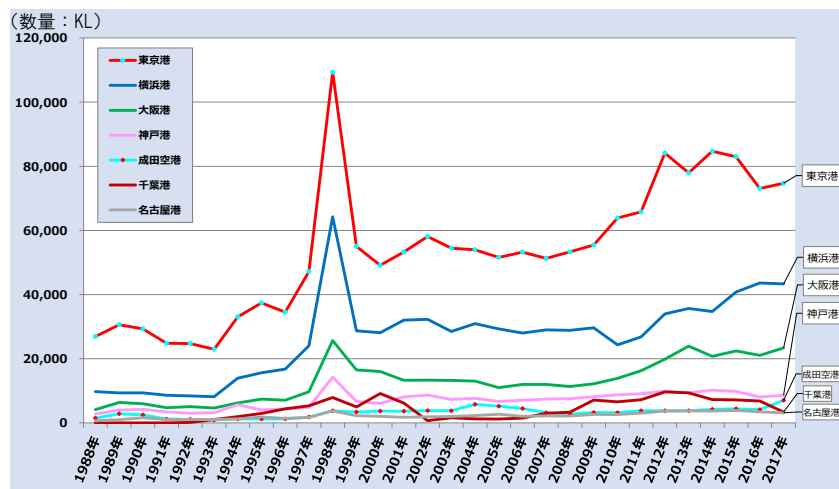
【全国 主要港別 輸入量・輸入額 構成比（2017年）】（表4）

港	数量 (KL)	構成比	金額 (億円)	構成比
東京港	74,717	41.7%	458	42.0%
横浜港	43,348	24.2%	281	25.7%
大阪港	23,376	13.0%	108	9.9%
神戸港	8,636	4.8%	54	5.0%
成田空港	7,020	3.9%	65	5.9%
千葉港	3,413	1.9%	17	1.6%
名古屋港	3,143	1.8%	20	1.9%
その他	15,597	8.7%	88	8.1%
計	179,251	100.0%	1,091	100.0%

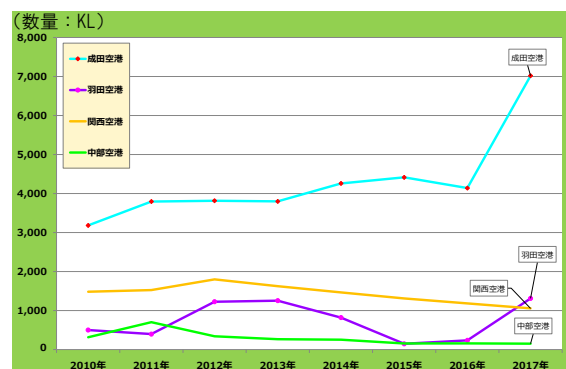
【全国 主要港別 輸入量・輸入額 構成比（2017年）】（図6）



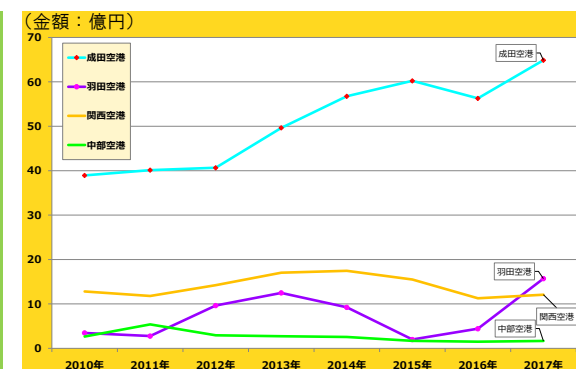
【全国 主要港別 輸入量 年別推移】（図7）



【全国 主要空港別 輸入量 年別推移】（図8）



【全国 主要空港別 輸入額 年別推移】（図9）



【全国 主要港別 輸入量 年別推移】

(数量：L)

Table showing monthly and annual wine import volumes by port from 1988 to 2017. Columns include year, port name (e.g., 東京港, 横浜港), and volume in liters. Includes a sub-table for monthly data from 2015 to 2017.

【全国 運送形態別 輸入量 月別推移】

(数量：KL)

Table showing monthly wine import volumes by transport mode (海上貨物, 航空貨物) from August 2015 to August 2017.

【全国 主要港別 輸入額 年別推移】

(金額：千円)

Table showing monthly and annual wine import values by port from 1988 to 2017. Columns include year, port name, and value in thousands of yen.

取材協力：日本洋酒輸入協会

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:03-3599-6385

財務省貿易統計

検索



東京税関

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎

http://www.customs.go.jp/tokyo/